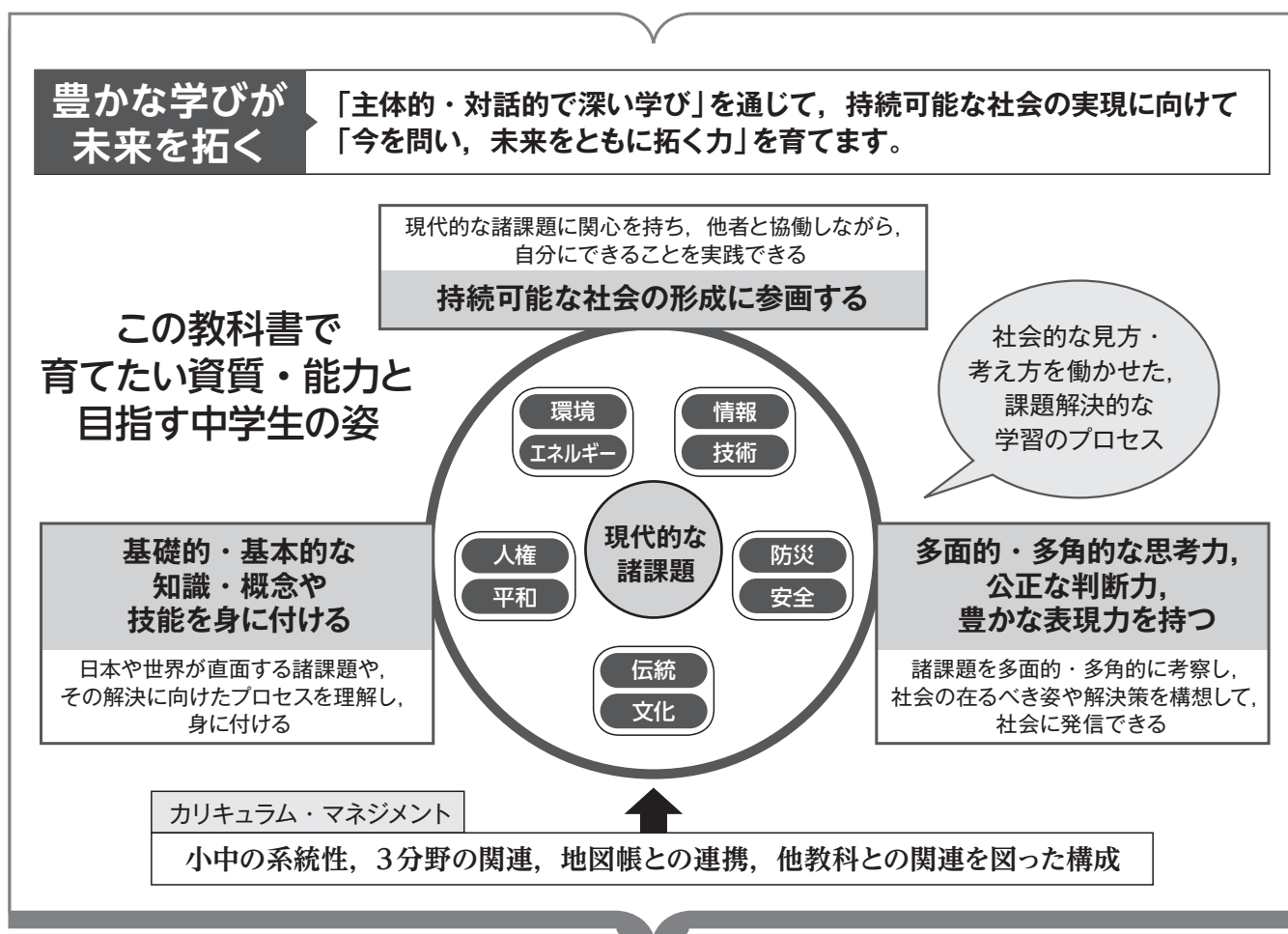


# 編 修 趣 意 書

## (教育基本法との対照表)

| ※受理番号          | 学 校            | 教 科      | 種 目       | 学 年    |
|----------------|----------------|----------|-----------|--------|
| 31-21          | 中学校            | 社会       | 社会(地理的分野) | 第1・2学年 |
| ※発行者の<br>番号・略称 | ※教科書の<br>記号・番号 | ※教 科 書 名 |           |        |
| 2 東書           | 地理701          | 新しい社会 地理 |           |        |

### 1. 編修の基本方針



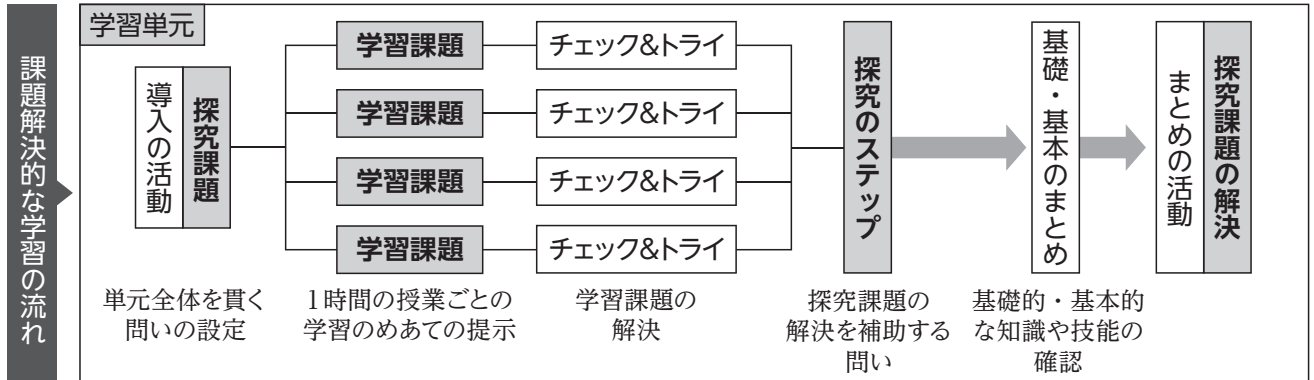
1. 教育基本法の「平和で民主的な国家及び社会の形成者として必要な資質」の育成という教育の目的に資するために、以下の資質・能力を育成できるようにしました。
  - ① 社会に対する関心を高め、現代社会の在りようや、我が国や世界が直面する現代的な諸課題を正しく認識するための、社会科の基礎的・基本的な知識や概念、技能を確実に身に付けられます。
  - ② 我が国や世界が直面する現代的な諸課題を考察し、解決策を考えるための、多面的・多角的な思考力、公正な判断力、豊かな表現力を身に付けられます。
  - ③ グローバル化や人工知能といった技術革新、少子高齢化など、急速に変化する現代社会にあって、我が国や世界が直面する諸課題を他者と協働して解決し、持続可能な社会を実現するための、主体的に社会に参画する意識や態度を養えます。
2. 効果的なカリキュラム構成のために、以下の点に留意しました。
  - ① 小・中学校を合わせた7年間で学習する「社会科」の位置付けを重視し、小学校社会科との系統性を高め、中学校社会科の地理・歴史・公民3分野の関連を図り、併せて地図帳と連携した学習を展開できます。
  - ② カリキュラム・マネジメントの観点から、他教科の学習内容との関連を図り、中学校での学習全体で教育の目的が実現できます。

**特色 1 知識・概念や技能の定着 確実な定着に導く知識・技能の体系化**

- ・ 中学校社会科で習得すべき知識や概念を、発達段階に応じて過不足なく盛り込みました。特に、地理学習を進める上で生徒がつかずきやすい事項は、巻末の「用語解説」で補足説明し、確実に定着できます。
- ・ 地理学習に必要な技能については、写真・グラフ・地図などの資料の読み取り方や調べ学習を行う際の手法などを「スキル・アップ」で紹介し、活用するコーナーも設けることで、発達段階に応じて確実に定着できます。

**特色 2 思考力・判断力・表現力の涵養 「問い」を軸にした課題解決的な構成と見方・考え方の活用**

- ・ 各単元の学習を、単元全体を貫く問いである「探究課題」と、探究課題の解決を補助する問いである「探究のステップ」、1単位時間の学習のめあてである「学習課題」の3段階の問いで構造化し、細かいステップで課題を解決していくことで、思考・判断した内容を、適切に表現する力を身に付けられます。



- ・ 地理学習の基礎となる、「位置や分布」「場所」「人間と自然環境との相互依存関係」「空間的相互依存作用」「地域」という地理的な「見方・考え方」をしっかり捉え、「チェック&トライ」「探究のステップ」「探究課題の解決」などの様々な学習場面で働かせることで、思考・判断を深められます。

**特色 3 課題を解決し未来を拓く力の育成 持続可能な社会の形成に主体的に参画する力の育成**

- ・ 領土をめぐる問題や地球環境問題など、我が国や国際社会が抱える現代的な諸課題を取り上げることで、その背景や経過に目を向けながら、解決策について具体的に考えられます。
- ・ 地理学習の過程で「みんなでチャレンジ」などの対話的な学習の場面を設けたり、最終単元で身近な地域の在り方について考え、持続可能な社会に向けて構想したりすることで、知識・概念、技能や思考力・判断力・表現力を活用して積極的に社会参画し、他者と協働しながらより良い社会を築こうとする意識と態度を養えます。

**特色 4 カリキュラム・マネジメント 小中の系統性、3分野の関連、地図帳との連携、他教科との関連**

- ・ 各章の導入部に、小学校社会科で学習した内容を用語や写真で振り返る活動を設けることで、小学校の学習から中学校の学習へと円滑に接続できます。
- ・ 持続可能な社会の実現のために解決すべき、「環境・エネルギー」「人権・平和」「伝統・文化」「防災・安全」「情報・技術」に関わる課題を、特設ページ「もっと地理・歴史・公民」に3分野共通で取り上げることで、地理・歴史・公民それぞれの視点から考察できます(下表)。


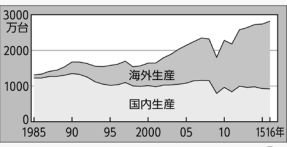



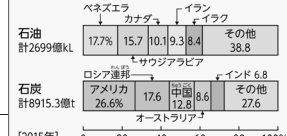

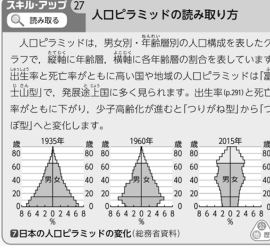


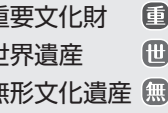

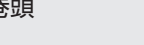
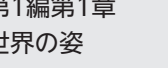
●3分野の関連で扱った「もっと地理・歴史・公民」



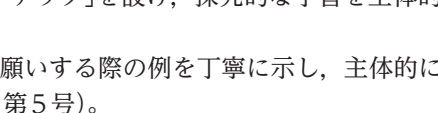
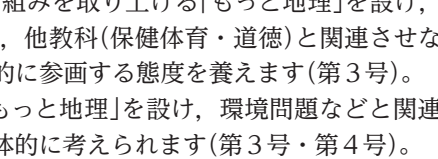
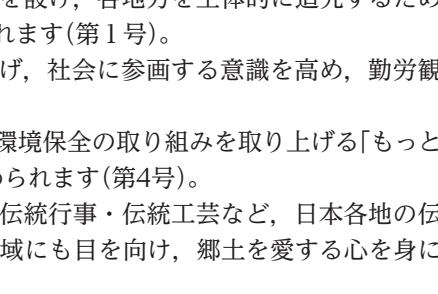
| テーマ/教材                  | 地理的分野             | 歴史的分野             | 公民的分野                    |
|-------------------------|-------------------|-------------------|--------------------------|
| 環境・エネルギー<br>日本のエネルギー問題  | 日本のエネルギーのあらまし     | 日本のエネルギーのこれまで     | これからの日本のエネルギーを考える        |
| 人権・平和<br>アイヌ民族          | 現代に受けつがれるアイヌ民族の文化 | アイヌ文化とその継承        | 先住民族としてのアイヌ民族            |
| 伝統・文化<br>オリンピック・パラリンピック | オリンピック・パラリンピックと東京 | オリンピック・パラリンピックと日本 | オリンピック・パラリンピックと日本の心      |
| 防災・安全<br>震災・復興          | 震災から命を守る          | 震災の記憶を語りつぐ        | 東日本大震災からの復興と防災—仙台市を例に考える |
| 情報・技術<br>情報化による社会の変化    | 情報化がアフリカ社会を変える    | メディアの発達が日本を変えた    | 新しい情報技術で社会が変わる           |

- ・ 同一の写真・グラフ・地図を3分野共通で掲載し、他分野との関連をマークで示すことで、一つの事象を地理・歴史・公民の各分野の視点から多面的・多角的に考察する力を育てられます。
- ・ 3年間の社会科学習全体で、教科用図書地図との連携を図り、学習内容の理解を深められます。
- ・ 他教科の学習との関連箇所にはマークを付して連携を図ることで、社会的事象について多面的・多角的に考察できます(本紙5ページ参照)。

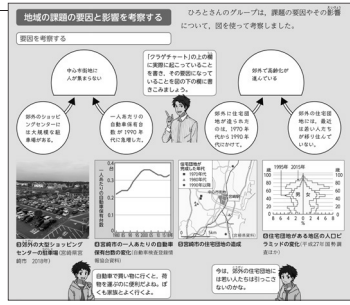
## 2. 対照表

○教育基本法第2条の各号に定められた教育の目標を実現するために、教科書全体を通して、以下のような配慮をしています。

| 図書の構成・内容  | 特に意を用いた点や特色  |  | 該当箇所                               |
|---|--|--|------------------------------------|
| <b>各単元に共通する内容</b>   |  |  |                                    |
|    | <ul style="list-style-type: none"> <li>地理的な見方・考え方を活用して取り組む場面に「見方・考え方」のコーナーを設けたり、マークを付したりして、より深い思考・判断ができます(第1号)。</li> </ul> <p style="text-align: right;">→173ページ</p>   |  <p>日本の企業が海外に工場を設けて生産することが、現地に与える影響を考えましょう。</p>   | 35, 65, 173, 218ページなど全体で85か所       |
|    | <ul style="list-style-type: none"> <li>小集団での参加型学習「みんなでチャレンジ」を設けることで、本文での学習内容を確実に理解させ、話し合いなどの対話的な活動を通じて多様な意見に触れながら学習を深め、価値判断や意思決定を行えます(第1号・第2号)。</li> </ul> <p style="text-align: right;">→24ページ</p>  |  <p>日本周辺の島々について考えよう</p> <p>(1)沖ノ島が生み出す、日本の排他的経済水域の面積を計算し、国土面積と比較しましょう。</p> <p>(2)周辺の島々が領土であることの意味について、グループで話し合いましょう。</p>  | 13, 21, 174ページなど全体で28か所            |
|    | <ul style="list-style-type: none"> <li>小学校社会科や「スキル・アップ」で身に付けた技能を活用して取り組む場面には、「集める」「読み取る」「まとめる」のコーナーなどを設け、各技能を定着・習熟できます(第1号)。</li> </ul>  |  <p>石油と石炭の埋蔵量が多い国の特色を、地域に着目して読み取りましょう。</p> <p style="text-align: right;">↑170ページ</p>  | 132, 160, 162ページなど全体で83か所          |
|    | <ul style="list-style-type: none"> <li>具体的な資料を使って、学習に必要な技能を身に付けさせる「スキル・アップ」を、「集める」「読み取る」「まとめる」の三つの側面で設け、地理学習に必要な技能を確実に定着できます(第1号)。</li> </ul>  |  <p>人口ピラミッドは、男女別・年齢層別の人口構成を表したグラフで、縦軸に年齢層、横軸に各年齢層の割合を表しています。出生率と死亡率がともに高い国や地域の人口ピラミッドは「富士山型」で、発展途上国に多く見られます。出生率(20%)と死亡率がともに下がり、少子高齢化が進むと「つりがね型」から「つぼ型」へと変化します。</p> <p style="text-align: right;">←169ページ</p> | 23, 147, 278ページなど全体で30か所           |
|  | <ul style="list-style-type: none"> <li>本文での学習内容を補充する「地理にアクセス」を設け、関連した知識を確実に習得できます(第1号)。</li> </ul>   |  | 83, 95, 205ページなど全体で43か所            |
|  | <ul style="list-style-type: none"> <li>本文での学習内容に関連した「もっと地理」を設け、本文の学習内容を基に、もっと深めたり、広げたり、異なる視点で捉えたりしながら学習できます(第1号)。</li> </ul>   |  | 70, 96, 196ページなど全体で15教材            |
|  | <ul style="list-style-type: none"> <li>歴史の中で残されてきた重要文化財、世界自然遺産・文化遺産、無形文化遺産にはマークを付すことで、我が国や世界の伝統と文化に目を向け、尊重する態度を養えます(第5号)。</li> </ul>   |  | 全体                                 |
|  | <ul style="list-style-type: none"> <li>幅広い視野から社会的事象の意味を確実に理解し、考察できるように、文章を平易に記述しました(第1号)。</li> </ul>   |  | 全体                                 |
| <b>単元ごとの内容</b>  |  |  |                                    |
|  | <ul style="list-style-type: none"> <li>世界各地の主な世界自然遺産や、絶滅するおそれのある種を取り上げることで、生命を尊び自然を大切にすることや、環境保全に寄与する態度を養えます(第4号)。</li> <li>巻頭で、環境・エネルギー、人権・平和、伝統・文化、防災・安全、情報・技術に関する題材を取り上げ、伝統と文化を尊重し、人権の尊重や環境の保全、国際社会の平和と発展を目指すことの重要性を意識しながら、主体的に社会に参画する態度を養えます(第3号・第4号・第5号)。</li> </ul>  |  | 巻頭1-巻頭2ページ<br>巻頭3-本文1ページ           |
|  | <ul style="list-style-type: none"> <li>地球儀や地図帳、統計資料の活用の仕方を学習する「スキル・アップ」を設け、身に付けた技能を確認する活動を効果的に設定することで、地理学習の基盤となる地理的スキルを確実に習得できます(第1号)。</li> <li>主な国々の名称と位置を学習するページでは、世界の各国を人口、面積、国境線などの視点から捉える展開にすることで、世界を多面的・多角的に捉えながら学習を深められます(第1号)。</li> <li>世界の国の学習で14か国の国旗を取り上げ、信仰する宗教との関係などの国旗の由来に触れることで、他国を尊重する態度を養えます(第5号)。</li> </ul> |  | 13, 15, 17ページ<br>10-13ページ<br>11ページ |

|                                 |   |  |   |
|---------------------------------|---|--|---|
| <p>第1編第2章<br/>日本の姿</p>          | <ul style="list-style-type: none"> <li>国際化した生活の中で理解が必要な時差について、調べ方を学ぶ「スキル・アップ」を設け、特に生徒がつまづきやすい部分の説明を充実させることで、時差の概念を確実に習得できます(第1号)。</li> <li>我が国が抱える領土をめぐる問題を学習する単元を設け、その地理的な背景を取り上げることで、問題を正しく理解し、国際平和のために解決すべき課題であることを意識できます(第5号)。</li> </ul> <p style="text-align: right;">→26-27ページ</p>   |    | <p>23ページ</p> <p>26-27ページ</p>  |
| <p>第2編第1章<br/>世界各地の人々の生活と環境</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>写真や雨温図の読み取り方を学習する「スキル・アップ」を設け、地域の特色を捉える学習を追究する上で必要な技能を、地理的分野の学習の早い段階で身に付け、第2章の地誌学習に生かすことができます(第1号)。</li> <li>六つの事例地域の雨温図に東京の雨温図を並べて掲載することで、日本と比較しながら事例地域を理解できます(第1号)。</li> <li>異なる自然環境で暮らす人やイスラム教を信仰する人のインタビューを取り上げ、環境に適応しながら生活する人々や多様な文化への理解や敬意を深められ、異文化への理解を促し、尊重する態度を養えます(第3号・第5号)。</li> </ul>  |    | <p>34, 37ページ</p> <p>36, 42, 44ページなど</p> <p>37, 43, 51ページなど</p>                                  |
| <p>第2編第2章<br/>世界の諸地域</p>        | <ul style="list-style-type: none"> <li>導入の活動で、地球環境問題などの現代的な諸課題に着目させるヒントとして、持続可能な開発目標(SDGs)を取り上げ、世界の諸地域の学習の前に諸課題を解決するための意識や態度を養えます(第1号・第4号)。</li> <li>アジア州に、イスラム教徒の生活・文化と、地域による違いを取り上げる「もっと地理」を設け、異文化への理解を促し、尊重する態度を養えます(第5号)。</li> <li>オセアニア州でツバルの環境問題を取り上げる「もっと地理」を設け、背景にある地理的要因や国際協力の重要性を理解しながら、環境保全の意識を高められます(第4号・第5号)。</li> <li>世界の各州の学習の最後に「資料から発見!」を設け、本文の学習で出てきた地図や写真、グラフなどの複数の資料の比較や関連付けを通じて、資料の読解や活用の技能を高め、地域の特色を捉えるための思考力・判断力・表現力を身に付けられます(第1号)。</li> </ul> <p style="text-align: right;">→55ページ</p> <p style="text-align: right;">→71ページ</p> |   | <p>55ページ</p> <p>70ページ</p> <p>134ページ</p> <p>71, 85, 97, 111, 123, 135ページ</p>                     |
| <p>第3編第1章<br/>地域調査の手法</p>       | <ul style="list-style-type: none"> <li>調べ学習に必要な技能を身に付ける「スキル・アップ」を設け、探究的な学習を主体的に進められます(第1号・第2号)。</li> <li>聞き取り調査などで訪問する相手へ調査をお願いする際の例を丁寧に示し、主体的に社会に関わる意識や態度を養えます(第2号・第5号)。</li> </ul>  |  | <p>142-155ページ</p> <p>148-149ページ</p>   |
| <p>第3編第2章<br/>日本の地域的特色と地域区分</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>地震や津波発生の仕組み、防災・減災の取り組みを取り上げる「もっと地理」を設け、防災や安全についての意識を高めるとともに、他教科(保健体育・道徳)と関連させながら、東日本大震災以降の社会づくりに主体的に参画する態度を養えます(第3号)。</li> <li>様々な発電方法の特徴や課題を取り上げる「もっと地理」を設け、環境問題などと関連付けながら、日本の電力の在り方について主体的に考えられます(第3号・第4号)。</li> </ul>   |  | <p>166-167ページ</p> <p>180-181ページ</p>   |
| <p>第3編第3章<br/>日本の諸地域</p>        | <ul style="list-style-type: none"> <li>各地方の学習の初めに地域を概観するページを設け、各地方を主体的に追究するために必要な、自然環境などの基本情報を捉えられます(第1号)。</li> <li>各地方で活躍する人のインタビューを取り上げ、社会に参画する意識を高め、勤労観の基礎を養えます(第2号)。</li> <li>瀬戸内海や富士山をはじめとする日本各地の環境保全の取り組みを取り上げる「もっと地理」を設け、環境保全に寄与する意識を高められます(第4号)。</li> <li>中部地方の伝統的な地場産業や、東北地方の伝統行事・伝統工芸など、日本各地の伝統・文化を取り上げる中で、自分の身近な地域にも目を向け、郷土を愛する心を身に付けられます(第5号)。</li> </ul>   |  | <p>186, 210, 234ページなど</p> <p>217, 251, 263ページなど</p> <p>208, 232ページ</p> <p>229, 248-251ページなど</p> |

|                                 |  |  |
|---------------------------------|--|--|
|                                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の特色を背景にしたアイヌ民族の文化を取り上げる「もっと地理」を設け、歴史的背景も併せて理解することで、多文化共生の重要性を意識でき、多様性を尊重する態度を養えます(第3号・第5号)。</li> </ul>   | 268 ページ  |
| <p><b>第3編第4章<br/>地域の在り方</b></p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・課題の発見や、社会への効果的な提言をするために必要な技能を身に付ける「スキル・アップ」を設け、探究的な学習を主体的に進められ、より良い地域づくりに積極的に参画する意識や態度を養えます(第1号・第2号・第3号)。</li> <li>・身近な地域の将来像について話し合ったり発表し合ったりする対話的な場面を充実させることで、他者を尊重し、協力する態度や、より良い地域づくりに主体的、協働的に参画する意識や態度を養えます(第2号・第3号)。</li> </ul> | <p>271, 278, 279<br/>ページ</p> <p>270-281 ページ</p> <p>↑275ページ</p> |

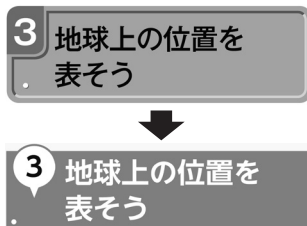


### 3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

#### ■全ての生徒が使いやすい紙面への配慮 ～特別支援教育への配慮やユニバーサルデザインの取り組み～

##### 紙面の読み取りやすさの向上

- ・特別支援教育の観点から、立体感や陰影のある表現を省いた「フラットデザイン」を採用し、従来掲載していたキャラクターを本文ページからなくすことで、学習者が学習に必要な情報に集中できるようにしました。
- ・資料の掲載部分を、文字などの読み取りに支障のない地色を敷いて区別することで、紙面の構造を明確化し、特別支援教育の観点での学習のしやすさを向上させました。
- ・ユニバーサルデザインフォント(UDフォント)を使用することで、文字の視認性を向上させました。
- ・振り仮名には読み取りやすいゴシック体を採用し、視認性をしっかりと確保した上で、黒色を抑えることで、振り仮名が多い文章での雑然とした印象を軽減し、読み取りやすさを向上させました。



##### 色覚特性への配慮

- ・グラフや地図などでは、色覚特性がある生徒にも見分けやすい色を使用しました。また、文字に縁取りをしたり、凡例を使用せずに図中に直接示すようにしたり、グラフでは読み取りづらい破線や点線を減らしたりしました。

#### ■今日的な課題への取り組み ～五つのテーマで持続可能な社会の実現に向けた諸課題を捉えられる～

- ・本紙2ページの表で挙げた、3分野の関連で扱っている内容以外にも、「環境・エネルギー」「人権・平和」「伝統・文化」「防災・安全」「情報・技術」の五つのテーマに関する特設ページやコラムを豊富に掲載し、「持続可能な社会」の実現のために解決すべき課題を、様々な題材から捉えられます。▶▶▶ 110, 196, 201, 256ページなど
- ・再生紙と植物油インキを使用し、環境に配慮しました。▶▶▶ 256ページ



#### ■学校教育を取り巻く諸課題への取り組み ～より良い指導や学びをサポートする～

##### 指導しやすさ・学びやすさの確保

- ・様々な教科の教科書を持ち歩く生徒の負担に配慮して、過度な重量にならないように、ページ数を抑え、軽くて裏写りせず、強度の高い紙を使用しました。
- ・必要な学習内容をしっかりと確保しながら、単元や1単位時間の紙面の構造を明確化することで、先生方の教材研究や授業準備の時間を短縮できます。
- ・資料には見開き単位で通し番号を付け、対応する本文の上に当該の図番号を付すなど、先生方が授業で指示しやすくなっています。

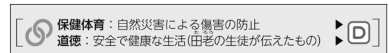
##### カリキュラム・マネジメントの支援

- ・社会科以外の様々な教科でも取り扱っている学習内容には、マークを付すことで、他教科の学習との連携を通して、社会的事象や現代的な諸課題を、より深く理解できます。

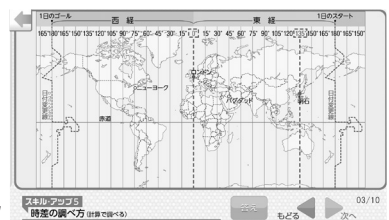
▶▶▶ 23, 76, 150, 167, 244ページなど

##### 教育のICT化への取り組み

- ・インターネットを活用した学習が効果的な部分にはDマークや二次元コードを付して、専用のウェブページなどから、学習をサポートする情報が得られます。関連する他分野の紙面や、他教科の紙面も参照できます。▶▶▶ 23, 37, 96, 167ページなど
- ・制度化された学習者用デジタル教科書を発行予定です。▶▶▶ 23ページのDマークのコンテンツ



↑167ページ



# 編 修 趣 意 書

## (学習指導要領との対照表, 配当授業時数表)

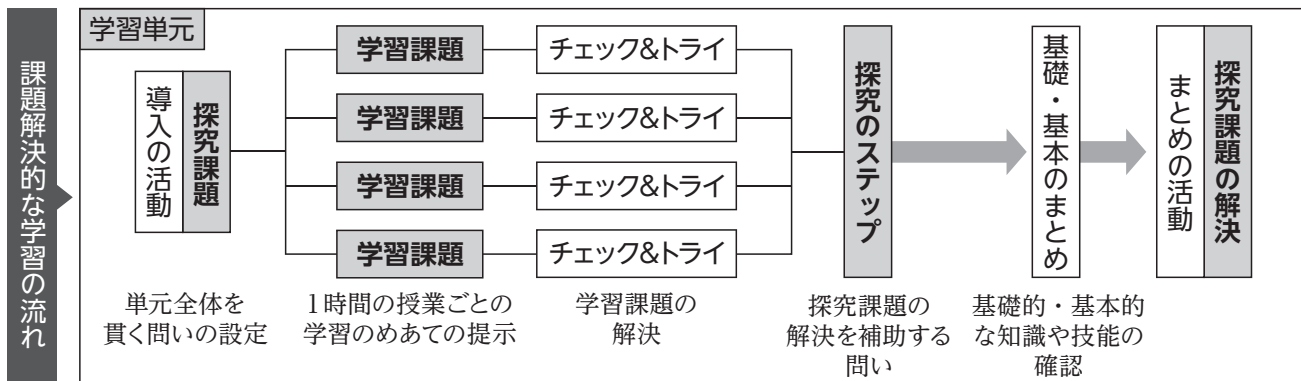
|            |            |          |            |        |
|------------|------------|----------|------------|--------|
| ※受理番号      | 学 校        | 教 科      | 種 目        | 学 年    |
| 31-21      | 中学校        | 社会       | 社会 (地理的分野) | 第1・2学年 |
| ※発行者の番号・略称 | ※教科書の記号・番号 | ※教科書名    |            |        |
| 2 東書       | 地理 701     | 新しい社会 地理 |            |        |

### 1. 編修上特に意を用いた点や特色

#### 1 ▶ 新学習指導要領の改訂点への対応

① 構造化された「問い」を軸にする課題解決的な単元構成で、「主体的な学び」が実現できる

- 各単元の導入部で、導入の活動を通して単元全体を貫く「探究課題」を立て、1単位時間の「学習課題」や「チェック＆トライ」、探究課題の解決を補助する問いである「探究のステップ」の積み重ねを通じて解決する、「問い」を軸に構造化された課題解決的な学習の流れで、生徒の思考力・判断力・表現力を効果的に高められます。

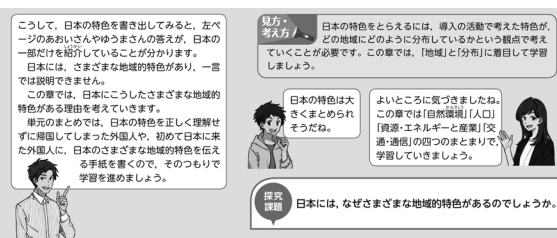


#### 導入の活動／探究課題

単元の導入部では、小学校の学習内容を振り返る活動などの多様な活動を通して「探究課題」を立てることで、学習内容への興味・関心を高めながら円滑に学習に入れます。



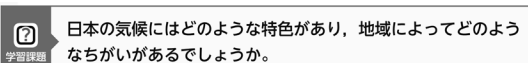
←156ページ(導入の活動)



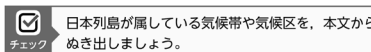
↑157ページ(探究課題の提示)

#### 学習課題／チェック＆トライ

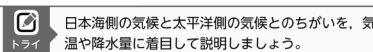
1単位時間の学習では、学習のめあてとなる「学習課題」を提示し、学習の終わりに、基礎事項を確認する「チェック」と、要約や説明などをする「トライ」の2段階の問いで学習課題を解決することで、学習内容の定着が図れます。



↑162ページ(学習課題)



↑163ページ(チェック＆トライ)



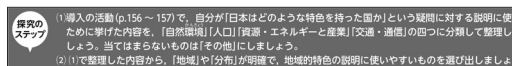
#### 探究のステップ

学習の途中や、単元のまとめの活動の前に設けた「探究のステップ」で、学習内容を振り返って整理することで、本文ページの学習の積み重ねを、「探究課題の解決」へ円滑につなげられます。

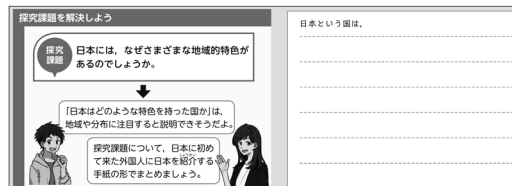
#### まとめの活動／探究課題の解決

単元の終結部には「まとめの活動」を設け、「思考ツール」を使って学習内容を整理しながら、単元を貫く「探究課題」を、無理なく解決できます。

→179ページ(単元の終結部)



↑178ページ(探究のステップ)



②小集団での参加型学習のコーナーで、「対話的な学び」が実現できる

- 小集団での参加型学習である「みんなでチャレンジ」を、課題追究のポイントとなる1単位時間の学習や「導入の活動」「まとめの活動」などに設け、対話的な学習場面を作ること、他者との協働を通じて思考力・判断力・表現力を高められます。➡ 7, 21, 98, 218ページなど

**みんなでチャレンジ** **国の位置を説明しよう** **見方・考え方**

(1)世界の六つの州から、それぞれ1か国ずつ選び、その国から見た日本の位置を、方位や距離、大陸や海洋との位置関係などで説明しましょう。

(2)グループで、それぞれが選んだ国の位置関係を、(1)と同じように説明し合ひしましょう。

➡21ページ

③見方・考え方を捉え、働かせるプロセスを通じて、「深い学び」が実現できる

- 単元の学習の初めに、学習指導要領で示されている、その単元で主に働かせる地理的な見方・考え方(着目点)を示しました。
- ・学習指導要領で示されている地理的な見方・考え方を、「探究課題」や「探究のステップ」、「学習課題」、「チェック&トライ」に反映させることで、地理学習全体を通じて「深い学び」が実現できます。
- ・本文ページなどに、「見方・考え方コーナー」を設けて、学習内容の理解に見方・考え方を働かせる場面を設けることで、単元を通して、その見方・考え方を意識しながら学習を進められます。

➡ 20, 35, 41, 216ページなど

➡35ページ

**見方・考え方** 人々の暮らしは、生活している場所の環境と、どのように関係しているのでしょうか。この章では、「人間と自然環境との関係(相互依存作用)」に着目して学習しましょう。

**近畿地方の人口増減率**

➡216ページ

**見方・考え方** ②から、近畿地方で人口の減少が進む地域の、分布の特徴を説明しましょう。

④SDGsなどの、現代的な諸課題を解決するための意識と態度を育てる

- 学習指導要領で「世界各地で顕在化している地球的課題」を扱うとされた第2編第2章「世界の諸地域」では、導入で、国連の「持続可能な開発目標(SDGs)」を理解させる活動を取り上げ、国際社会が抱える諸課題の理解を促せます。

➡55ページ

**地理にアクセス** **SDGsとは？**

持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals: SDGs)は、2015(平成27)年に、国際連合(国連)で採択されました。2030年までに、解決すべき、次のような17の目標(ゴール)が示されています。

●社会科の3年間の学習を貫く、「環境・エネルギー」「人権・平和」「伝統・文化」「防災・安全」「情報・技術」の五つのテーマで、様々な課題や克服のための取り組みを扱い、現代的な諸課題の解決のための意識と態度を育てられます。

- ・ **環境・エネルギー** 様々な環境問題や、発電方法の特徴や課題を取り上げる「もっと地理」や「地理にアクセス」を設け、環境やエネルギーの問題への意識を高められます。➡ 81, 134, 180, 232ページなど
- ・ **人権・平和** イスラム教と人々の暮らしを取り上げる「もっと地理」で、イスラムの教えの内容や地域による多様性に触れるなど、本文やコラムで多文化共生に向けた視点を身に付けさせるとともに、人権や国際平和への意識を高められます。➡ 70, 244, 268ページなど
- ・ **伝統・文化** ※本紙4ページ参照
- ・ **防災・安全** 本文や「もっと地理」で、東日本大震災などの具体的な事例を提示しながら、様々な自然災害とその地理的要因や背景、復旧・復興のための諸機関の連携や人々の協力を取り上げ、防災や安全への意識や態度を養えます。➡ 164-165, 166-167, 252-253ページなど
- ・ **情報・技術** 情報通信技術の進展による社会の変化について、本文や「地理にアクセス」、「もっと地理」で具体的な事例を通して理解させ、地理的な制約の克服に情報・技術が活用されていることを理解できます。➡ 67, 95, 196ページなど

➡70ページ

**もっと地理** **イスラム教と人々の暮らし**

アジアで多くの人々が信じるイスラム教の、人々の生活との関わりを考えましょう。

**イスラム教徒の生活**  
イスラム教の教典「コーラン」には、イスラム教の開祖ムハンマドがイスラム教の神アッラーから受けた教えがまとめられています。コーランには人々の生活についてのさまざまなことが書かれており、イスラム教徒の生活のよりどころになっています。

月の満ち欠けを基準にしたイスラム暦の9月(ラマダン)には、イスラム教徒は日の出から日没まで一切の飲食をしない断食や、さまざまな欲望をおさえることで、神への服従を示します。人々は断食を「賢い人や困っている人への気持が分かる」「神に近づける」ととらえています。日没後は飲食が許されるため、親戚や近所の人たちと食事を楽しむ姿も見られます。また、「コーラン」では、子どもや老人、病人などは断食をしなくてよいとされています。

**地域によって異なる決まり**  
イスラム教では、女性は、自分の家族や親類以外の前では、はだや髪をかくしておくべきだとされています。しかし、地域によって「コーラン」の解釈がちがうため、目の部分以外を全て黒いベールでかくす地域や、欧米風の服装をしている地域など、さまざまです。

また、イスラム教では、一般的に飲酒が禁止されていますが、イスラム教徒以外にも禁止している地域もあれば、イスラム教徒もふくめて飲酒ができる地域もあります。このように、イスラム教徒の生活は、地域によって異なります。

**求められるイスラム教への正しい理解**  
近年では、イスラム過激派とよばれる一部の人が、他の宗教に対するテロリズムなどを行っていることで、日本や世界には、イスラム教に対する誤ったイメージを持っている人がいます。しかし、「コーラン」では、ほかの宗教を信仰する人々を認め、東洋オリンピックなどで多くのイスラム教徒が日本を訪れるようになる中で、イスラム教に対する正しい理解が求められています。

➡70ページ

2 構成・配列

①ICTを活用したカリキュラム・マネジメントを可能にする教材構成

- **小・中の系統性** 各単元の導入部に、小学校社会科で学習した内容を用語や写真で振り返るページを設け、小・中の学習を円滑に接続できます。➡ 6, 33, 183ページなど

**3分野の関連** 3年間の社会科学学習を貫く五つのテーマ(本紙2ページ参照)について、3分野共通の題材や、分野をまたがる共通の資料を扱い、分野関連マークを付すことで、多面的・多角的な学習ができます。

➡ 96, 166-167, 244, 268ページなど

➡96ページ

**他教科との関連** 他教科でも扱う学習内容には、教科関連マークを付し、教科を横断した学習の確認ができます。

➡ 23, 76, 150, 167, 244ページなど

➡150ページ

**Dマークコンテンツ** Dマークや二次元コードが付いている部分では、教科書5ページに掲載した二次元コード・URLなどからリンクすることで、歴史や公民の関連する紙面や、他教科の紙面を確認できます。また、生徒のつまずきを補うシミュレーションや動画などのコンテンツも収載しています。➡ 23, 37, 96, 167, 180ページなど

**デジタル教科書** 制度化された学習者用デジタル教科書を発行予定です。

## ②「地域的特色の理解」を確実にする構成の工夫

- 第2編第2章「世界の諸地域」では、各州の自然や生活の写真を、第3編第3章「日本の諸地域」では、各地方の「探究課題」に関連した写真を導入教材で取り上げ、生徒が学習する地域を具体的にイメージできます。

➡ 56-57, 88-89, 126-127, 197, 209, 233, 245ページなど

➡245ページ

日本の各地方の「探究課題」のテーマ

| 地方      | テーマ      | ページ         |
|---------|----------|-------------|
| 九州地方    | 自然環境     | 185-196 ページ |
| 中国・四国地方 | 交通・通信    | 197-208 ページ |
| 近畿地方    | 人口、都市・村落 | 209-220 ページ |
| 中部地方    | 産業       | 221-232 ページ |
| 関東地方    | 交通・通信    | 233-244 ページ |
| 東北地方    | 生活・文化    | 245-256 ページ |
| 北海道地方   | 自然環境     | 257-268 ページ |

**情報化がアフリカ社会を変える**  
情報化の進展によって、アフリカにはどのような影響が見られるか考えましょう。

急速に普及するスマートフォン  
世界の電話での通信の変化を見ると、以前は電話回線に電話機をつなげて利用する固定電話が中心でした。しかし、1990年代半ばごろから回線の携帯電話が急速に増加し、現在では、電話以外にさまざまな機能をもつスマートフォンが主流になっています。携帯電話は、固定電話のような回線網を必要としないため、アフリカなどの発展途上国でも急速に普及が進んでいます。  
アフリカで成長するICT産業  
これまで、先進国を中心にICT(情報通信技術)産業が発展し、インターネットなどが普及して

技術：安全に利用するための情報モラル

**日本のエネルギーのあらまし**  
日本で行われている、発電方法の特徴や課題を考えましょう。

↑180ページ

この祭りにはどんな意味が込められているのだろう。

東北地方では、各地で伝統的な祭りが行われています。このような祭りなどの伝統行事には、豊かな収穫を期待するといった人々の願いが込められています。また、東日本大震災の後は、東北六県の祭りを結びつけた「東北六魂祭」が開催され、2017(平成29)年以降は「東北絆まつり」として引きつがれています。  
一方、東北地方の伝統産業も現在に伝えられていて、海外へ出荷されている製品もあります。  
東北地方では、どのようにしてこのような人々の思いや伝統が受けつがれているのでしょうか。

245

## 3 内容の程度・分量

### ①見開き1単位時間の構成で、柔軟な指導計画の作成が可能

- 本文は見開き2ページで1単位時間を原則にしています。
- 目次・索引、巻末資料などを除いたページ数は276ページで、標準授業時数115単位時間のうち、5単位時間の予備時間を設け、柔軟な指導計画の作成が可能です。

### ②バランスの良い配当時数

- 授業時数は、地理学習の導入に1単位時間、1編に13単位時間(1章に7単位時間、2章に6単位時間)、2編に39単位時間(1章に10単位時間、2章に29単位時間)、3編に57単位時間(1章に6単位時間、2章に11単位時間、3章に35単位時間、4章に5単位時間)を配当しており、適切な配当といえます(本紙5ページの「対照表」参照)。

### ③学習指導要領の内容に沿った構成と理解しやすい本文記述

- 内容の程度・範囲は、学習指導要領に示された内容を基に構成し、文章も敬体(ですます体)を用い、因果関係を明確に記述する一方、中学生の発達段階を考慮した、平易な表現を使用しています。

## 4 学習指導要領・現代的な諸課題への対応

### ①地理的分野の基礎的・基本的な知識・概念を確実に定着させる

- 見開き1単位時間の紙面を、「興味・関心を喚起する導入資料→学習のめあてを示す『学習課題』→丁寧で分かりやすい本文→学習内容の整理とまとめ『チェック&トライ』(右ページ下)」の流れで構造化し、学習内容が確実に定着できます。
- 1編と2編1・2章、3編2・3章の終結部には、学習した知識・概念を確認する「基礎・基本のまとめ」を設け、定着の確認と振り返りができます。➡ 32, 53, 138, 182, 269ページ



●地理の学習を進める上で必要不可欠な事項や、生徒がつまづきやすい事象については、巻末の「用語解説」で簡潔な説明を加えることで、確実に定着できます。▶288-291ページ

②地理学習に必要な基礎的な技能を確実に身に付けさせる

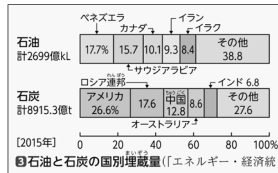
▶169ページ

- 地図やグラフの読み取り方・作り方、写真の読み取り方など、地理的な技能を、様々な習得・活用場面を通して身に付けられます。
- 地理学習の基礎的な技能を説明する「スキル・アップ」を設け、身に付けた技能を確認する問題も適宜設けることで、確実に定着できます。
- ▶15, 23, 61, 147, 169, 177ページなど
- 小学校社会科や「スキル・アップ」で身に付けた技能を活用する「集める」「読み取る」「まとめる」のコーナーを設け、1単位時間の授業を中心に、課題解決的な学習のための情報収集や読み取り、まとめの技能を身に付けられます。

**集める**

36から46ページや、地図帳の資料から、東京より年降水量の多い外国の都市を探し、その都市の場所や気候を説明しましょう。

▶162ページ(集める)



**読み取る**

③から、石油や石炭の埋蔵量が多い国の特色を、地域に着目して読み取りましょう。

▶170ページ(読み取る)

③公共の精神に基づき、主体的に社会に参画する態度を養う

- 日本各地の人々が、自分たちの仕事や生活の様子を語るインタビューを充実し、具体的な職業を身近なものとして感じることで、勤労観や社会参画の意識を高められます。
- ▶189, 205, 217, 251, 263ページなど

- 第3編第4章「地域の在り方」では、地理学習のまとめとして、それまでの学習で習得した知識や技能、捉えてきた見方・考え方を働かせながら、身近な地域のより良い在り方を構想することで、社会参画の意識や態度を養えます。
- ▶270-281ページ

**スキル・アップ 27 読み取る 人口ピラミッドの読み取り方**

人口ピラミッドは、男女別・年齢層別の人口構成を表したグラフで、縦軸に年齢層、横軸に各年齢層の割合を表しています。出生率と死亡率がともに高い国や地域の人口ピラミッドは「富士山型」で、発展途上国に多く見られます。出生率(ρ)と死亡率(μ)がともに下がり、少子高齢化が進むと「つりがね型」から「つぼ型」へと変化します。

◎日本の人口ピラミッドの変化(総務省資料)

**まとめる**

身近な地域で起こる可能性がある災害を一つ挙げ、どのような防災対策が必要かまとめましょう。

▶164ページ(まとめる)

**地域の課題の要因と影響を考察する**

ひとさんのグループは、課題の要因やその影響について、図を使って考察しました。

◎自動車が増えれば、道路が狭いから渋滞がひどくなる。また、排気ガスが増えるから、大気汚染がひどくなる。さらに、道路が狭いから、歩行者や自転車利用者の安全が脅かされる。また、道路が狭いから、災害時の避難が難しくなる。

▶275ページ

④我が国の伝統と文化を、広い視野に立って考え、国土や歴史に対する理解と愛情を深める

- 日本の領域について学習する単元では、我が国が抱える領土をめぐる問題やその地理的な背景を取り上げ、問題を正しく理解し、国際平和のために解決すべき課題であることを意識できます。
- ▶24-27ページ

**4 北方領土・竹島と尖閣諸島**

領土をめぐる問題を考えることは、どのような地理的視点が必要か。

◎領土をめぐる問題の背景を学ぶ。領土をめぐる問題は、領土をめぐる問題の背景を学ぶ。領土をめぐる問題は、領土をめぐる問題の背景を学ぶ。

◎領土をめぐる問題の背景を学ぶ。領土をめぐる問題は、領土をめぐる問題の背景を学ぶ。領土をめぐる問題は、領土をめぐる問題の背景を学ぶ。

▶26-27ページ

- 本文や「もっと地理」、コラムで、地理的特色を背景に発展した伝統産業や、伝統文化などを取り上げ、歴史的背景などと関連付けて理解することで、我が国や郷土に対する理解や愛情を深められます。
- ▶229, 251, 268ページなど

▶268ページ

**もっと地理 現代に受けつがれるアイヌ民族の文化**

アイヌの人々によって受けつがれた、文化の特色を考察しよう。

◎アイヌの文化は、自然と結びついた生活や習慣を大切にしています。自然と結びついた生活や習慣を大切にしています。自然と結びついた生活や習慣を大切にしています。

- 重要文化財、世界遺産、無形文化遺産にはマーク(重世無)を付し、文化財を通して我が国の伝統や文化に対する理解と愛情を育てられます。

5 特別支援教育に関わる適切な配慮

- 特別支援教育の観点から、立体感や陰影のある表現を省いた「フラットデザイン」を採用し、学習者が学習に必要な情報に集中できます。
- 資料の掲載部分を、文字などの読み取りに支障のない地色を敷いて区別することで、紙面の構造を明確化し、特別支援教育の観点での学習のしやすさを向上させています。

- 教科書全体を通してユニバーサルデザインフォント(UDフォント)を使用し、文字の視認性を高め、読み取りやすさを向上させています。
- 色覚特性がある生徒にも見分けやすい色を使用するとともに、グラフや地図などでは、凡例を使用せずに図中に直接示すようにしたり、読み取りづらい破線や点線を極力減らしたりしました。
- 小さな文字が読み取りにくい生徒に配慮し、読み取りやすいゴシック体の振り仮名を採用し、視認性を確保しながら黒色を抑えることで、紙面の雑然とした印象を軽減し、読み取りやすさを向上させています。

## 6 ▶ 印刷・造本

### ①生徒が使いやすい造本面の工夫

- 視覚的効果が高い幅広の判型(AB判)を用い、資料を豊富に掲載するとともに、写真や文字の鮮明さに留意し、見やすく印象的な紙面構成になっています。
- 様々な教科の教科書を持ち歩く生徒の負担に配慮して、過度な重量にならないように、ページ数を抑え、軽くて裏写りせず、強度の高い紙を使用しました。
- 針金綴じを用いて製本するなど、造本は堅牢で、長期間の使用にも十分耐えられます。

### ②用紙等の環境への配慮

- 用紙には、強度と発色性とを兼ね備えた質の高い再生紙を使用して環境に配慮するとともに、文字や図表、写真などの資料が読みやすく、色映えするように工夫しています。
- 印刷用のインキは、環境に配慮した植物油インキを使用しています。

## 2. 対照表

| 図書の構成・内容          | 学習指導要領の内容         | 該当箇所       | 配当時数  |
|-------------------|-------------------|------------|-------|
| 持続可能な社会の実現に向けて    |                   | 巻頭3-1ページ   | 1     |
| 第1編 世界と日本の姿       | A-(1)             | 6-32ページ    | 13    |
| 第1章 世界の姿          | A-(1)①            | 6-19ページ    | 7 ○   |
| 第2章 日本の姿          | A-(1)②            | 20-32ページ   | 6 ○   |
| 第2編 世界のさまざまな地域    | B-(1),(2)         | 33-139ページ  | 39    |
| 第1章 世界各地の人々の生活と環境 | B-(1)             | 33-53ページ   | 10 ○  |
| 第2章 世界の諸地域        | B-(2)             | 54-139ページ  | 29    |
| 1節 アジア州           | B-(2)①            | 56-73ページ   | (7) ○ |
| 2節 ヨーロッパ州         | B-(2)②            | 74-87ページ   | (5) ○ |
| 3節 アフリカ州          | B-(2)③            | 88-99ページ   | (4) ○ |
| 4節 北アメリカ州         | B-(2)④            | 100-113ページ | (5) ○ |
| 5節 南アメリカ州         | B-(2)⑤            | 114-125ページ | (4) ○ |
| 6節 オセアニア州         | B-(2)⑥            | 126-137ページ | (4) ○ |
| 第3編 日本のさまざまな地域    | C-(1),(2),(3),(4) | 140-281ページ | 57    |
| 第1章 地域調査の手法       | C-(1)             | 140-155ページ | 6     |
| 第2章 日本の地域的特色と地域区分 | C-(2)             | 156-182ページ | 11 ○  |
| 第3章 日本の諸地域        | C-(3)             | 183-269ページ | 35    |
| 1節 九州地方           | C-(3)①            | 185-196ページ | (5) ○ |
| 2節 中国・四国地方        | C-(3)④            | 197-208ページ | (5) ○ |
| 3節 近畿地方           | C-(3)②            | 209-220ページ | (5) ○ |
| 4節 中部地方           | C-(3)③            | 221-232ページ | (5) ○ |
| 5節 関東地方           | C-(3)④            | 233-244ページ | (5) ○ |
| 6節 東北地方           | C-(3)⑤            | 245-256ページ | (5) ○ |
| 7節 北海道地方          | C-(3)①            | 257-268ページ | (5) ○ |
| 第4章 地域の在り方        | C-(4)             | 270-281ページ | 5     |
|                   |                   | 予備時間       | 5     |
|                   |                   | 合計         | 115   |

※配当時数に「○」がある単元の時数には、単元の導入の活動やまとめの活動に配当している時間を含めています。

※予備時間は、生徒の自主的な学習活動の時間や評価などに充てる時間です。